

Talking  
with  
the Horses  
naked winter

演劇「津軽」

2019.10.5 土曜日 - 20 日曜日

会場：青森県立美術館コミュニティギャラリー  
9:30 - 17:00 (10月15日火曜日のみ休館) 入場無料

串田明緒 写真展  
故郷



串田明緒 写真展

# 故郷

## 演劇「津軽」

Talking with the Horses  
naked winter

故郷とは何か？  
生まれ育った土地、家。  
家族。忘れえぬ人びと。  
過ぎ去った時間。

何もかもがゆっくりと移ろいでいく。

もはや記憶の中にしか存在しないものたち。

すべてが懐かしくなったなら、また戻ってみようか。

「津軽」は、小山書店から津軽風土記を委嘱され、

昭和19年の5月に太宰治が久しぶりに故郷に戻って書いた小説。

演劇「津軽」は、劇作家・長谷川孝治が描いた舞台。

ふたつの「津軽」を辿りながら、

わたしは下北半島での冬の白い記憶を

もういちど追いかけてみようと思う。

太宰治の故郷、わたしの故郷、

すべての人びとの普遍的な故郷を求めて

この世の涯てへと旅をしてみようと思う。

東北の遅い春、短い夏、ふいに終わる秋、長い冬を

ともに感じながら。

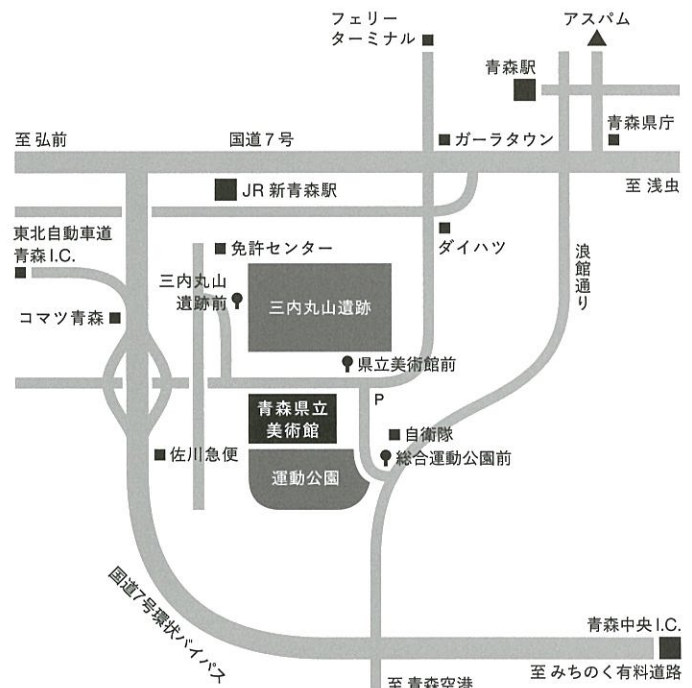
本展では、串田明緒による2種類の写真作品をご紹介します。

太宰治生誕110年記念 演劇「津軽」(原作/太宰治 脚本・演出/長谷川孝治 2019年9月13-16日上演)の撮り下ろしに加え、下北半島に生息する野放し馬・寒立馬を厳冬の中で撮影したカラー写真約30点と映像作品を展覧いたします。

青森という風土で生まれ育った作家たちの、独特の世界をお楽しみください。

### 串田明緒 Akio Kushida

写真家、文筆家。日本大学芸術学部文芸学科卒業。18歳まで青森県八戸市で育つ。写真は独学でさまざまな形から学ぶ。撮影アシスタントをしていた在学中、「週刊朝日」の表紙モデルになると同時に、篠山紀信が女子大生たちを撮る様子を撮影し文章に綴った。夫である俳優・演出家・舞台美術家の串田和美の創作現場から、俳優たちのポートレート、歌舞伎、サーカスなどの作品を紡ぐ。舞台のメインビジュアルを多数手がける。著書に、写真と文章による写真集「拝啓 平成中村座様」「わたしの上海バンスキング」など。2016年8月、英国オックスフォード大学内 Pitt Rivers Museum に作品永久収蔵。2018年3月、寒立馬(かんだちめ)を通して自身の「故郷」に立ち戻った「Talking with the Horses -naked winter-」の写真展開催。



## アーティストトーク 「故郷とは」

長谷川孝治 (青森県立美術館舞台芸術総監督)

串田明緒 (写真家・文筆家)

聞き手 齋藤歩 ([公財]北海道演劇財団 芸術監督)

10月6日(日曜) 13:30 から

定員 50名 参加無料 要申込

会場: 青森県立美術館 コミュニティギャラリー

申込方法: 電話またはメール

電話: 017-783-5243 (平日 9:00-17:00)

メール: engeki@aomori-museum.jp

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局

電話: 017-783-5243 (平日 9:00-17:00)

HP: <http://www.aomori-museum.jp>

メール: engeki@aomori-museum.jp